

第1回委員会 で出たご意見(要旨)

こども・学生ボランティア助成について

基金設立10周年を機に新たに設置した「こども・学生ボランティア助成事業」の審査会において、委員会より以下の意見が提示され、再度事務局で検討し、次回11月に予定している第3回委員会において再度審議を行うこととした。

〈主な意見等〉

対象経費について

- ① 活動の参加において、参加費をとらず、すべて補助金で賄うことについての疑義
参加費をとるような仕組みでないと、継続的な活動に繋がらないのでは。
- ② 保険加入について
活動者・参加者ともに活動時に保険に加入する必要があるのでは。
来年度は保険加入を条件とするか。または推奨にとどめるか。
- ③ 謝礼の規定について
助成申請額の大半が報償費(講師謝礼)といった事業収支計画はいかがなものか。

対象事業について

- ④ 熊本市外での活動の取り扱いについて
熊本市外での活動のみの事業の場合、熊本市での公益性が見えづらい。

申請書類関係

- ⑤ 申請書類から申請者の実態がよくわからない
本当にこどもたちが主体的に活動しているのか、疑義が残る。
活動者の名前と所属の一覧の添付が必要ではないか。

申請時の支援について

- ⑥ 書類の書き方や趣旨の理解不足についての支援
申請書類の内容だけでは不明確な点をもう少しブラッシュアップできないか。

申請時期について

- ⑦ 小学校の授業カリキュラムに沿ったスケジュールの検討
小学校の授業で「自分たちの住んでいる町について考える」というものがあり、当助成が活用できそうだが、現在の申請の時期とかみ合わない。翌年度になると、卒業や先生の異動、クラス替えなどの問題もある。事務局のスケジュールもあるので、できるかはわからないが、申請時期を検討してみてもいいかもしれない。

その他

- ⑧ プレゼンテーションについて
ステップアップ助成のように、こどもたちにもプレゼンテーションをしてもらってはどうか。